



株式会社セブン&アイ・ホールディングス
2014年2月期 第2四半期決算説明会

2013年10月4日

株式会社セブン&アイ・ホールディングス



2014年2月期 第2四半期実績

連結決算概要

営業利益、純利益とも過去最高を更新

	14/2期 第2四半期			
	金額	前期比	前期増減	計画差異
グループ売上*	47,524億円	113.1%	+5,512億円	+524億円
営業収益	28,076億円	114.6%	+3,570億円	+576億円
営業利益	1,645億円	111.8%	+173億円	▲4億円
当期純利益	833億円	124.6%	+164億円	+28億円

PL為替換算レート: U.S.\$1=95.73円(前年差: 15.96円 円安)

*グループ売上: セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めた数値



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1

事業セグメント別営業利益

主にコンビニエンスストア事業と金融関連事業により増益を達成

	14/2期 第2四半期		
	金額	前期比	前期増減
連結営業利益	1,645億円	111.8%	+173億円
コンビニエンスストア	1,287億円	110.5%	+122億円
スーパーストア	118億円	127.5%	+25億円
百貨店 (のれん償却前)	▲5億円 (20億円)	—	▲18億円
フードサービス	8億円	191.8%	+4億円
金融関連	228億円	122.9%	+42億円
その他	13億円	66.6%	▲6億円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

2

主要事業会社の営業利益

セブン-イレブン・ジャパンと7-Eleven, Inc.は過去最高益

	14/2期 第2四半期			増減の主な要因
	金額	前期比	前期増減	
セブン-イレブン・ジャパン	1,113億円	111.3%	+112億円	● 計画を上回る出店(950店)のコスト増を既存店伸長と荒利率改善でカバー
7-Eleven, Inc.	207億円	117.0%	+30億円	● 既存店売上の伸長 ● 為替によるプラス影響
イトーヨーカ堂	26億円	357.5%	+18億円	● 衣料品中心とした荒利率改善 ● コスト削減
ヨークベニマル (LF*込み)	85億円	106.5%	+5億円	● 出店増による売上拡大
そごう・西武	15億円	70.4%	▲6億円	● 高額品伸長による荒利率マイナス

*LF:ライフフーズの略称(ヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社)

 セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

2014年2月期 計画

連結業績計画

期初計画に変更なし

	14/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
グループ売上*	95,600億円	112.4%	+10,523億円
営業収益	56,400億円	113.0%	+6,483億円
営業利益	3,400億円	115.0%	+443億円
当期純利益	1,700億円	123.1%	+319億円

PL為替換算レート:14/2期予想 92.00円(前年差:12.19円 円安)

*グループ売上:セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めた数値



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

連結業績計画：事業セグメント別営業利益

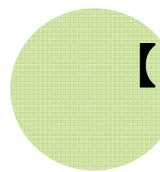
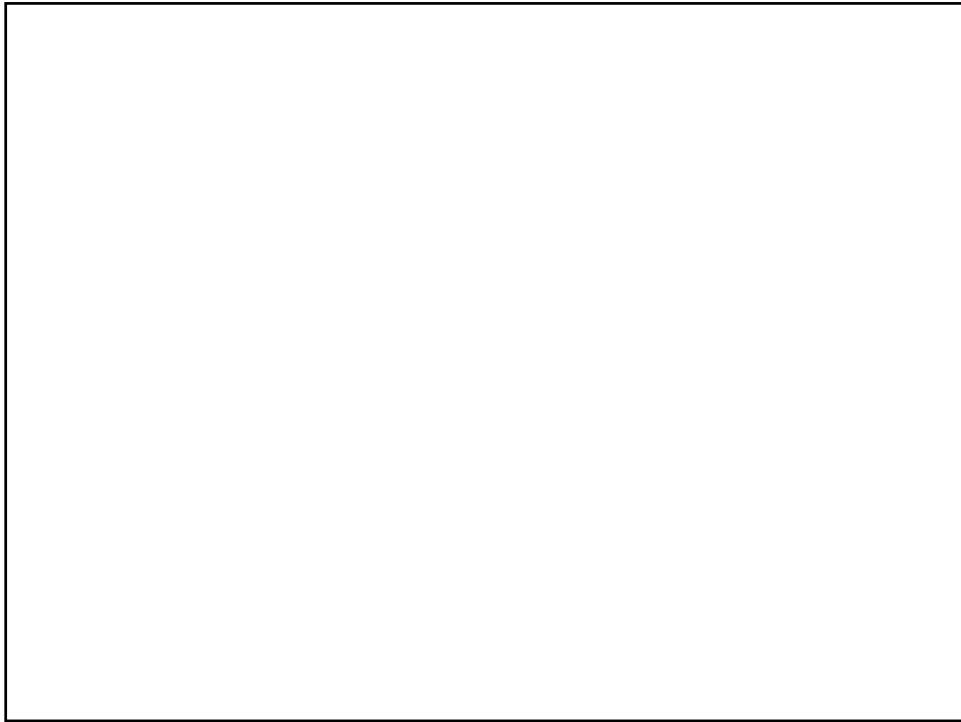
事業セグメント別計画も期初計画から変更無し

	14/2期計画		
	金額	前期比	前期増減
連結	3,400億円	115.0%	+443億円
コンビニエンスストア	2,490億円	112.3%	+272億円
スーパーストア	396億円	155.3%	+141億円
百貨店	89億円	110.8%	+8億円
フードサービス	14億円	194.0%	+6億円
金融関連	414億円	110.6%	+39億円
その他	40億円	102.9%	+1億円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

5



【ご参考】
主要事業会社の決算概況

コンビニエンスストア事業:実績①

セブン-イレブン・ジャパン



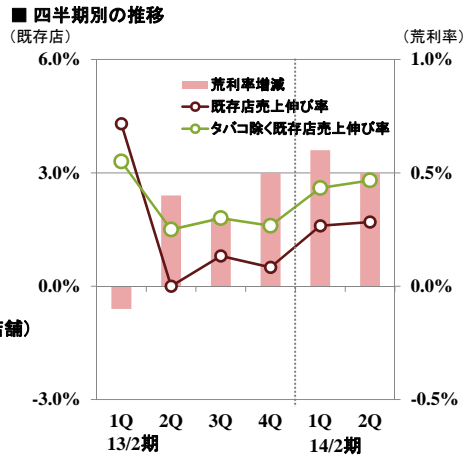
計画を上回る950店の出店によるコスト増をカバーし、過去最高益を達成

	実績	前期比
営業利益	1,113億円	111.3% +112億円
既存店売上伸び率	+1.7%	
商品荒利率	30.6%	+0.6%

※既存店売上伸び率は、2014年2月期より新基準で開示しております

概況

- 上期として過去最高の950店舗の出店と純増数(+759店舗)
- 既存店売上は、政策的に強化しているデイリー商品や『セブンカフェ』の好調により伸長
- 商品荒利率は通期計画(+0.5%)を上回って改善



セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

6

コンビニエンスストア事業:実績②

7-Eleven, Inc.

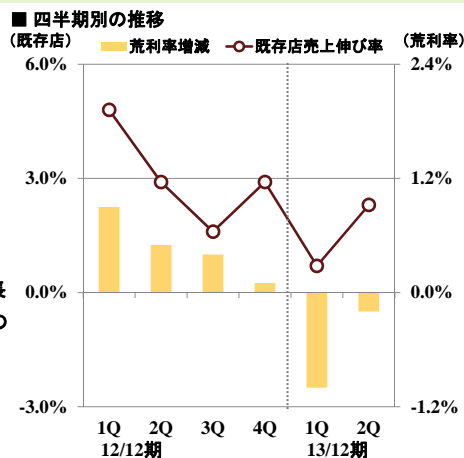


商品売上の伸長とガソリン荒利額の増加に加え、為替の円安影響により増益

	実績	前期比
営業利益	207億円	117.0% +30億円
米国内既存店商品売上高伸び率(ドルベース)	+1.6%	
商品荒利率	34.7%	▲0.6%

概況

- 商品売上は、FF、アルコール飲料などが牽引して伸長
- 昨年上期の気温が高く、スラッピー等高荒利の商品の販売が伸びた反動等により荒利率がマイナス
- 店舗数は自前での出店を中心に200店舗を出店
- 営業利益に対する円安影響は約+34億円



セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

スーパーストア事業:実績①

イトーヨーカ堂

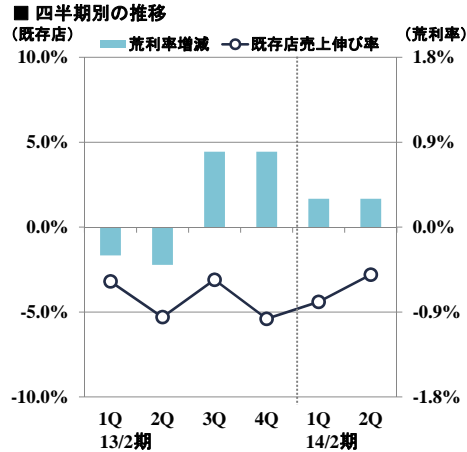


構造改革の継続とPB商品強化による荒利率改善により増益

	実績	前期比
営業利益	26億円	357.5% +18億円
既存店売上伸び率	▲3.6%	
商品荒利率	29.8%	+0.3%

概況

- 既存店売上は、主に天候要因によりマイナスも2Qでは回復傾向
- 荒利率はPB商品強化が奏功し、衣料品を中心に改善(衣料:+1.0%)
- 販管費は、新店による増加はあったものの、既存店ベースでは、着実に削減



セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

8

スーパーストア事業:実績②

ヨークベニマル

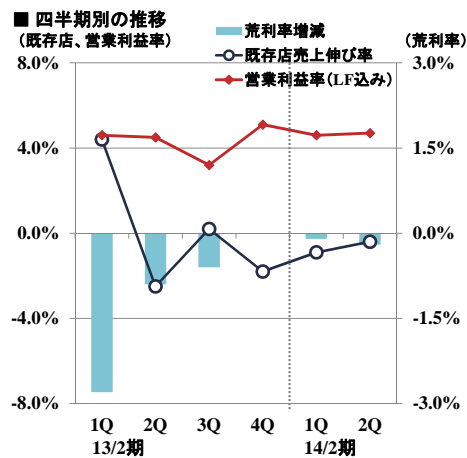


積極的な出店に伴う売上増加により増益

	実績	前期比
営業利益	65億円	111.4% +6億円
既存店売上伸び率	▲0.6%	
商品荒利率	25.4%	▲0.2%
営業利益 (ライフフーズ込み)*	85億円	106.5% +5億円

概況

- 既存店売上は、天候や生鮮相場の影響などからややマイナスも、積極的な出店(12/8末比+7店舗)により売上高は+3.8%の増収
- 荒利率は、頻度品を中心とした価格対応などにより若干のマイナス



*ライフフーズは、ヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

百貨店事業:実績

そごう・西武

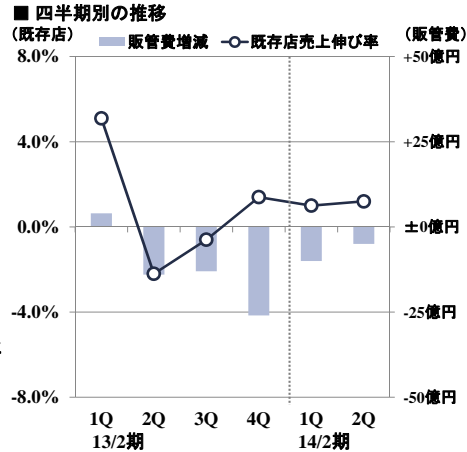


既存店売上は伸長も高額品伸長による荒利率のマイナスにより減益

	実績	前期比
営業利益	15億円	70.4% ▲6億円
既存店売上伸び率	+1.1%	
商品荒利率	24.9%	▲0.2%

概況

- 既存店売上は、高額品の売上伸長に加えて、池袋、横浜といった基幹店の伸長によりプラス
- 荒利率は、主に低荒利率の高額品売上伸長の影響によりマイナス
- 販管費は前期2店舗の閉鎖による削減に加え、既存店ベースでも抑制



本資料には、当社の本資料発表日時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。